

# 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : CLIMAXメンテナンスクリーナー  
会社名 : 株式会社ソフト99オートサービス  
住所 : 大阪府大阪市中央区内淡路町3-1-3  
電話番号 : 06-6947-9955  
FAX番号 : 06-6945-9991  
メールアドレス : [mup@soft99-as.co.jp](mailto:mup@soft99-as.co.jp)  
推奨用途 : スプレーに入れて使用するアルカリ性脱脂剤

## 2. 危険有害性の要約

<ラベル要素>

絵表記 : 

危険有害性情報 : 重篤な眼への刺激

取扱注意 : 眼に入った場合は、速やかに清水で洗い流して下さい。

## 3. 組成、成分情報

成分及び含有量（危険有害性物質を対象）

化学名又は一般名	化審法	CAS 番号	含有量(%)
水溶性有機溶剤	非公開	非公開	15-18
金属イオン封鎖剤	非公開	非公開	5-10
アルカリソーダ	非公開	非公開	非公開
非イオン性界面活性剤	非公開	非公開	10-12

化審法；全成分登録済。

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 応急処置は要しない。
- 皮膚に付着した場合 : すべての汚染された衣類を脱ぐ。  
皮膚と接触した場合は、多量の水で洗い流す。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で5分間以上洗い流す。眼と接触した場合には多量の水で洗い医師の診断を受ける。眼球を傷つける可能性があるのでこすらない。
- 飲み込んだ場合 : 水で口内を洗い（その人の意識がある場合のみ）、嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させ、直ちに医師の診断を受ける。
- 応急措置をする者の保護 : 救急者は保護具を着用する。
- 医師に対する注意事項 : 医師の診断を受ける際、このMSDSを示す。

#### 5. 火災時の措置

本製品自体は不燃性であり消化剤は必要としない。

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 床が滑りやすくなるため注意を要する。
- 洗浄方法 : 水で洗浄し下水へ直接流す。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	: 保護眼鏡、ゴム製手袋等を着用すること。
保管条件	: 温度 40 度以上の所には保管しない。 石油の蒸留物、グリコール類や不凍液を含有しないため、本製品は水と同様に凍結する。凍結しても解けた後の本製品の性能に対する影響はなし。 低温保管の場合、粘度が増加し、取扱いにくくなる場合がある。
容器梱包材料	: 特別な包装の必要はなし。

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	: 未設定
許容濃度	: 日本産業衛生学会 未設定 ACGIH 未設定
設備対策	: 必要なし。
<保護具>	
呼吸器の保護具	: 必要があれば防毒マスク等を着用する。
手の保護具	: 必要なし。 但し、長時間使用する場合は、乾燥をさけるために、ゴム製手袋等を着用するとよい。
眼の保護具	: 直接眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡を着用するとよい。
皮膚及び身体の保護具	: 必要なし。
<衛生対策>	取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 無色透明液体
比重	: 約 1.01
PH	: 10.1
沸点	: 100℃

## 1 0. 安定性及び反応性

引火点	: なし
発火点	: なし
可燃性	: なし
金属腐食性	: 通常の用途と使用方法では特になし。高純度アルミなど、一部の非鉄金属を本製品の高濃度液に長時間浸漬すると腐食することがある。
発火性	: なし
酸化性	: なし
自己反応性・爆発性	: なし
粉塵爆発性	: なし
安定性	: 本製品は安定で、他の化学物質とは反応しない。

## 1 1. 有害性情報

急性毒性／経口	: LD50 : > 5000mg/kg (ラット)
急性毒性／吸入	: LC50 : > 158mg/ℓ (魚)
皮膚腐食性・刺激性	: LD50 : > 5000mg/kg (ウサギ)
眼に対する重篤な損傷、眼刺激性	: あり ウサギの試験で、本物質を 0.1ml 点眼した結果、軽度の刺激性 (slight irritation) が見られた。

## 1 2. 環境影響情報

環境に放出された際は、容易に微生物分解される。

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 多量の水を流しながら排水処理をすること。ろ過すれば、再利用も可能である。
汚染容器及び梱包	: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

#### 1 4. 輸送上の注意

特に留意はならない。

#### 1 5. 適用法令

特になし。

#### 1 6. その他の情報

参考文献／資料 : GHS 国連文書（改定 2 版：2007 年）英文及び和文  
化学物質総合情報提供システム（nite:製品評価技術基盤機構）  
各種法令集、その他

本データシートは、一般的な工業的用途について、製品の適切な取扱いを確保するための参考情報として提供するものです。現時点で弊社が入手可能な資料ならびに測定等に基づき作成したもので、記載の数値等について、いかなる保証をするものではありません。これを参考として、個々のご使用者様において実態に応じた安全かつ適切な措置をお取り下さるようお願い致します。

また、特別な取扱いをされる場合につきましては、新たに適切な安全対策を実施の上、お取扱いをお願いします。